

高齢者のための生活支援体制整備事業 ～ みんなで支える地域づくり ～

閩田布施町社会福祉協議会（事務局） ☎53-1103

少子高齢化が進む中、高齢者が住み慣れた地域で在宅での生活を長く続けられるように、地域の方が主体となって、見守り、声かけ、集いの場の開催、家事支援などを行っていく『支え合い活動』が重要となります。このため町では、生活支援コーディネーター（支え合い推進員）と協議体（話し合いの場）を設置し、地域主体の支え合い活動を推進する『高齢者のための生活支援体制整備事業』に取り組んでいます。

■なぜ、支え合いが必要か？

町では、団塊の世代が75歳となる令和7年（2025年）には、高齢化率（65歳以上）が、38.4パーセントになると推測しています。

高齢者の増加により、医療・介護支援の必要性が高まりますが、介護サービスを担う人材は不足すると予想されます。また、認知症の人や単身世帯の増加により、買い物、草刈り、ゴミ出しなどの困りごとを抱え、日常生活を送る上で、支援を必要とする人が増えると考えられます。

高齢になっても住み慣れた地域で、いつまでも元気で安心して暮らし続けることができるよう、地域のみならず『支え合いの地域づくり』に取り組みましょう。

▶カフェあさひ（旭自治会）



■地域で取組が始まっています

町では、日常生活圏域（公民館単位）で支え合いを考える協議体の設置を進めています。地域ごとに、勉強会（準備会議）、協議会の設置という流れで行っており、麻里府地域で昨年8月に協議体が設置されたのを皮切りに、今年度は城南地域でも地域づくりセミナー（準備会議）を開催しました。

■協議体と生活支援コーディネーターの役割は

①協議体（話し合いの場）

地域の多様な住民が中心となり、地域の助け合い・支え合い（互助）を広げるための話し合いの場です。

②生活支援コーディネーター（支え合い推進員）

協議体と連携しながら、地域のさまざまな活動をつなげ、組み合わせる調整役です。

■各地域での取組状況

①麻里府地区『支えあいまりふ』（協議体）

- ・勉強会を3回開催後の昨年8月に『支えあいまりふ』を設置。
- ・地域の困りごとを把握する手段の一つとして、『困りごと相談ポスト』を公民館および集会所に設置。

②城南地区『お互いさま城南』（準備会議）

- ・昨年8月から生活支援と介護予防に関する勉強会を4回開催。
- ・愛称を『お互いさま城南』と決定。

③麻郷地区（予定）

- ・地域づくりセミナー（準備会議）を今後予定。



■参加者の声

城南地域づくりセミナーで挙げられた意見を紹介します。

◇今後、地域に必要な支え合いは？

買い物支援、話し合いの場、草刈りなど

◇あなたが地域でできることは？

声かけ、草刈り、見守り、電球交換など

▶地域づくりセミナー（城南）

